

あやせ

2014年
7/15
No.1016

広報

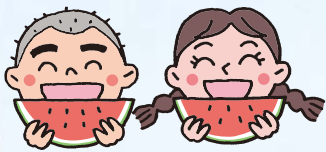
今月の納税など
一納期限は7月31日(木)ー



■国民健康保険税(第2期)
納税は口座振替が便利です。手続きは通帳と通帳印を持参し、金融機関窓口で。国税務課 ☎70・5612。
■後期高齢者医療保険料(第1期)
国保年金課 ☎70・5617。



栽培中の高座スイカを見守る石井榮さん。「実際に食べて、甘さを味わってほしい」と話します(6月23日撮影)。



◀高座スイカ
品種名は「富研号」で、皮のしま模様が薄く大玉なのが特徴。かつては「高座西瓜」として、高い人気を誇りました。

奈良県で富研号が復活 種を譲り受け試験栽培

高座スイカは本来の品種を「富研号」といい、昭和24年に奈良県内の農業指導者の協力によって綾瀬などで栽培が始まりました。昭和28年頃をピークに、綾瀬の特産品として東京・横浜の各市場で爆発的な人気を博しました。10年ほど盛ん

に作られた後は、連作障害などのため栽培が下火となり、昭和50年頃には市場から姿を消しました。近年、奈良県で富研号が復活し、その種を本市でも譲り受けたことから、かつて高座スイカを栽培していた石井榮さん(72歳、吉岡)が平成23年に試験栽培に乗り出し、復活させました。平成25年には、石井さんが代表を務め、5軒の農家

高座スイカが収穫の時期を迎えました。長きにわたり市場から姿を消していた幻のスイカも、市内農家の努力で復活し、ここ数年は私たちの食卓を彩るようになりました。復活に取り組んだ生産者の姿を紹介します。

懐かしく、新しい幻の味
よみがえった高座スイカ

昔と変わらない出来栄え 「おいしい」の声が励み

10代の頃から、高座スイカを栽培する父親の作業を手伝っていたという石井さんは、「昭和20年代後半は、綾瀬の多くの農家で高座スイカを栽培していました。当時は甘い物といえばスイカで、珍しい品種だったこともあり、人気が高かったようです」と、ピーク時を振り返ります。

で構成される研究会が発足。生産・消費の拡大を目的として研究に取り組むほか、イベントでの販売などを通して普及に努めています。

その後は数を減らし、石井さんも昭和30年代中頃には栽培から手を引きました。「品種が多様化したほか、メロンの普及などで高座スイカ以外にも甘い物が増え、さらには核家族化で小さな品種が好まれるようになったこともあり、大玉の高座スイカは数を減らしていききました」と、当時の事情を話します。復活に向けて取り組んだ平成23年の試験栽培を振り返り、「昔の高座スイカと比べても遜色はなかったと思います。収穫したもの奈良県で富研号を復活させた生産者に送ったところ、『全く問題はない』と言われました」と、その時の出来栄を話します。大玉で、皮のしま模様が薄いという特徴のほか、石井さんは「甘さがある」と言います。「おいしい」と

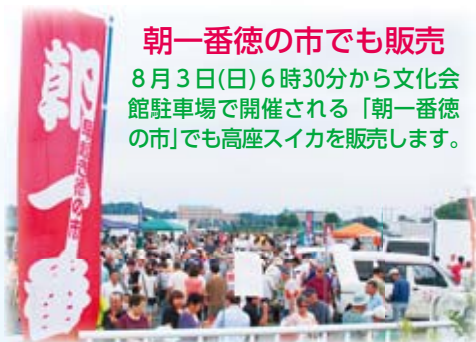
高座スイカの直売

次の直売所で販売しています。時期や栽培の状態などにより、高座スイカがない場合もあるので、あらかじめご了承ください。

名称	所在地	営業・販売日	☎
愛菜市	早川677(農協集出荷場内)	毎週日曜日 11時から (売り切れ次第終了)	79・0003
グリーンセンター綾瀬	深谷中3-4-5	毎月第3水曜日 定休 9時~17時営業	79・0003
フレッシュマーケット	早川677(農協集出荷場内)	毎週水曜日 11時~14時	79・0001
旬菜みのりファーム	大上9-9-9	毎週 火・木・土曜日 10時~15時	090・4437・3891

朝一番徳の市でも販売

8月3日(日)6時30分から文化会館駐車場で開催される「朝一番徳の市」でも高座スイカを販売します。



「綾瀬観光」をテーマに討論

オープンセミナー開催

8月2日(土)13時45分~16時、市役所7階展示ホールで「綾瀬観光オープンセミナー」の第1弾を開催します。

観光振興に向けて取り組む市民や地域づくりの専門家などが、綾瀬の観光の方向性や具体的な方策などについて討論します。

綾瀬の魅力や観光のあり方について、一緒に考えてみませんか。景品がもらえる綾瀬ご当地クイズもあります。

定員100人(抽選)。☎7月31日までに住所、氏名、電話番号を商工振興課へ ☎70・5685、☎70・5701か ☐su1440@city.ayase.kanagawa.jp (☎☐は「綾瀬観光オープンセミナー参加希望」要明記)。

シリーズ第2弾は9月に、第3弾は12月にそれぞれ開催を予定しています。セミナーの詳細は市ホームページをご覧ください。

☎同課。

ご当地
クイズで
景品も

